

バリューアップ オーバーホール リフレッシュパック 3

対象

納入後10年目までのビル用マルチエアコン、スカイエア、設備用エアコンをお使いのお客さま

特長

3年間修理費無償

機器整備の費用にわずか
5%の追加でOK!!

オーバーホール例

圧縮機や電装品をバリューアップ。
空調機の機能をリフレッシュさせます。

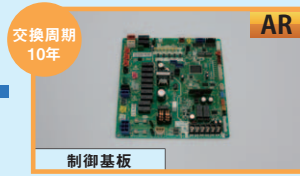
常に最新の知識・技術で確実にメンテナンス

冷媒回路の保全整備

室外機熱交換器が汚れたままで高負荷、高温運転を続けると運転効率が低下し無駄なエネルギーを消費することになります。また、高負荷運転による磨耗分や劣化物が冷媒回路の他の部品に悪影響を及ぼすことになります。



主軸受け磨耗によるロック
電動機コイルレアショット



抵抗、コンデンサー、IC劣化による作動不良



抵抗値の誤差、断線による温度検知不良

対象部品	圧縮機、電子膨脹弁、冷媒系統、保護装置、熱交換器ほか
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●使用時間:2万時間(または使用8年程度経過)を目処に保全提案を行っています。 ●多台数の場合、1系統を分解調査を実施し、最適な機器全体の保全計画立案も行っていきます。

対象部品	電装品、コンデンサ、圧力・温度センサー、SW電源ほか
点検時期	冷房シーズン前
保全時期とポイント	<ul style="list-style-type: none"> ●特に、制御部品はマグネットスイッチと同時に交換をお奨めています。 ●センサー類は3~5年を目処に点検修理をお奨めます。センサーの誤作動は「無用な運転による消費電力の増加」や「高負荷運転で故障停止」に繋がる恐れもありますので早めの交換をお奨めます。

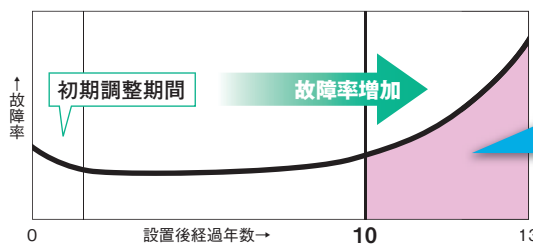
おすすめする理由

ご存知ですか?

経年劣化による設備の故障は、設置後10年前後を目安に増加し、その規模も大きくなる傾向にあります。



■設備故障率の時間的変化(イメージ)



修理機会の増加が予想されるこの期間のサポートが受けられます。

10年目以降大きくなる修理費を低減し、突発的に発生する費用を抑えます。

水冷式を除く
一般空調用途に限る

- 空調機設置後10年目までのお客様が対象で一般空調用途に限ります。
- 消耗品交換、軸受交換、油注入作業および清掃及び機器の洗浄作業は保証対象に含まれません。
- リフレッシュパック3をお申し込みいただいた場合でも、すでに発生した修理費用を払い戻すことはできません。
- 圧縮機、プリント基板、センサーを保全交換した場合のみ保証対象となります。
- 保全提案したにもかかわらず未整備の部位は対象外となります。